

釣れ釣れなるままに

1992年思い出の釣行記 PART. 1

山見沢釣遊会

鹿島釣狂

釣遊会第1回大会

☆開催日	平成4年4月19日
☆開催場所	須築港～瀬棚港
☆入釣場所	藻岩岬
☆潮	干潮 22:45 - 3cm 満潮 05:58 28cm 干潮 10:49 15cm
☆天候	風雨強い 波3m
☆エサ	ゴロ40 イワムシ1 塩エラコ1 イソメ1 サンマ3 アミブロック1 ホッケパワー1
☆釣果	ホッケ 364 mm 2 アブラコ 300 mm 4 ソイ 240 mm 1 重量 1100g
☆成績	点数 774点 順位 7位 累計点 7点 (7)



岩見沢釣遊会第7回大会臨時参加 (平成3年11月)

岩見沢釣遊会11月第7回大会の案内ポスターがカナダ屋釣具店の店先に貼られていたので参加を申し込んだ。釣り大会は初任地の栗沢町で農協職員に誘われ静内方面で経験したことがあるだけだ。その会の雰囲気によっては入会を申し込みたいと考えて参加したのだ。釣り場のあてもなく釣りバスに乗り込んだが、すぐ後に座った前野氏の案内で鵜苫沢右の磯で釣りをした。釣り場に着いた時は干潮時で、岩場で竿を出すのですがすぐに潮が満ちてきてその岩には乗っていられなくなる。右に100mほど移動して竿を出すのが、根掛かりがひどく、満潮に向かっていったため少しずつ後退しながらの釣りとなった。カジカの35cm級が来て一応格好が付いたが、他の獲物はハゴトコのみである。明け方になり左の方の砂浜の湾洞に移動し、アブラコを狙って沖の岩を目がけて遠投する。しかし、ハゴトコのみ結果となる。

前野氏よりイカゴロネット仕掛けを頂戴する。審査結果は惨憺たるものだったが、釣遊会の雰囲気が楽しそうなので入会することにした。

岩見沢釣遊会入会 釣遊会第1回大会

岩見沢釣遊会に入会した。カナダ屋で申請していると、推薦人2名が必要だという。カ

ナダ屋の店員で釣遊会の会員でもある斉藤氏とたまたま買い物に来ていた佐々木秀美氏に推薦人になっていただく。

第1回大会に参加した。「北海道のつり」を参考にして藻岩岬に入る。須築トンネルを抜けたところで私一人がバスから降りた。藻岩岬の先端目指して大岩場を歩き始めたが、他の釣り人は誰もいない。途中、深く切れ込んだ入り江（C）にぶつかり迂回しながら30分程かけて先端（D→）に到着する。

2：00 波が高く遠投は一投、一投根掛かりする。入り江へのチョイ投げは根掛かりするも何とか抜けてくる。この状況は雄冬の岩場で経験済みだが、あまりのひどさにボウズを覚悟しなければならなかった。チョイ投げにアタリが出て、これも根掛かりするが、何度か煽ると30cm弱のアブラコが抜けてきた。

2：30 中投のネット仕掛けの竿にガッガッガッーと竿を持ち上げる強いアタリがある。慌てて飛び付くが根掛かりしてしまった。アタリの主はソイかハチガラだろう。道糸を弛めておくと時折アタリが出るのだがいくら待っても抜けてこなくて結局仕掛けを失うことになった。近投では小物だがアブラコが抜けてきて何とか4本になった。

6：00 ソイ24cmが釣れ、2魚種5匹がそろった。

8：00 中投でホッケが釣れる。364mm 330mm

8：50 時間が来たので荷物を整理する。

○アタリはあるが未熟なために魚を取り込むことができない。

○ホッケもソイもアブラコもゴロ仕掛けに来る。

○ホッケのアタリだと思うのだがハリ掛かりしない。ホッケに身エサを食わせる工夫が必要である。

○ウキ釣りを考えるが時間がない。この次は、早めにウキ釣りの準備をしておこう。

○コマセ（ホッケパワー）はもう一袋必要である。

○明け方、釣り場に波が乗り、エサ、仕掛け等が流された。

○平磯の経験がないため大岩場を選んでしまう。しかも最先端に出たい。